

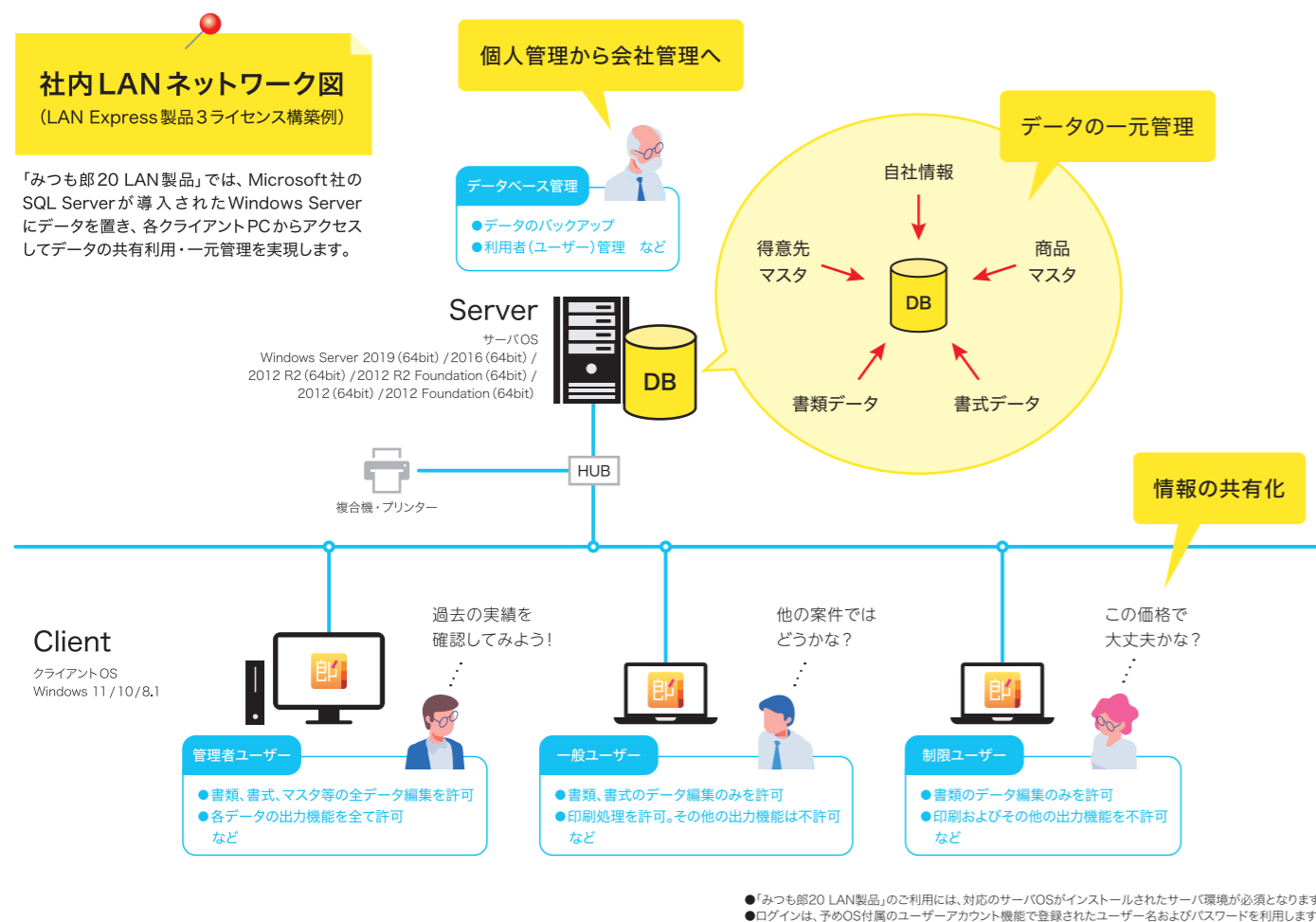
「みつも郎 20 LAN 製品」で、書類データや書式データ、各マスタなどを一元管理 & 共有。 企業規模を選ばないので、中堅や大規模企業向けのシステム構築が可能です。

「みつも郎 20 LAN 製品」とは

「みつも郎 20 LAN 製品」は、ネットワークサーバ上に置かれたデータベースによって、書類データ・書式データ・得意先マスタ・商品マスタなどの各データを、複数ユーザーで共有利用できる製品です。社内統一の印刷フォームを使った見積書・請求書の作成や、見積価格・商品名称の統一など書類管理の充実と精度の高い書類作成を目指すユーザー様向けのネットワーク対応製品です。リレーショナルデータベースシステムの中でも優れた

操作性と高い信頼性・安定性を供給するMicrosoft社の「SQL Server 2017^{*}」に対応していますので、中堅から大規模企業のシステム構築にも対応しています。サーバ・クライアント型のデータベース管理システムで、基幹業務システムの構築に欠かせない管理・運用の向上と、貴重なデータ資産を安全に一元管理できます。

^{*}「みつも郎 20 LAN Express 製品」の場合、「みつも郎 20 LAN for SQL 製品」の対応データベースは、「LAN 製品動作環境」をご覧ください。コベック株式会社までお問い合わせください。



「LAN 製品」導入のメリット

「みつも郎 20 LAN 製品」は、サーバ・クライアント型のデータベース管理システム (Microsoft SQL Server) への対応で、「情報の共有化」「データの一元管理」「個人レベルから会社レベルへ」の利用を実現。複数の担当者が作成する

データがリアルタイムに反映しますので、企業資産を最大限に活用することができただけでなく、タイムラグのない快適なデータ作成が可能で、より安全・安心を考慮したデータ活用を実現します。

< 情報の共有化 >

各個人の情報を共有することで、より精度の高い見積書の作成を実現。重要案件での成功例やポイントとなるアドバイスなど、情報を共有することで個人同士の互恵がすすみ、シナジー (相乗) 効果に期待できます。また、押印機能をあわせて活用すれば、書類を印刷→押印→上長へ回覧→返却といった社内承認のプロセスをフルデジタル化でき、タイムロスやコストの削減にも繋がります。

< データの一元管理 >

データをサーバでまとめて管理するので、蓄積したデータ利用の汎用性が向上。煩雑な見積作業もデータ管理が統一されることで、入力作業を大幅に軽減し、より効率的なデータ作成が可能。例えば、会社ロゴを貼り付けたオリジナル書式や、書類番号の連番機能も一元管理されたデータから活用でき、よりスムーズな書類管理によって、業務効率アップにも繋がります。また、Windowsログオンユーザー名を利用して、ユーザー毎のパスワード利用と稼働の権限設定が可能ですので、権限毎に利用できる編集メニューの設定で、不要なデータ編集や削除を防ぎます。

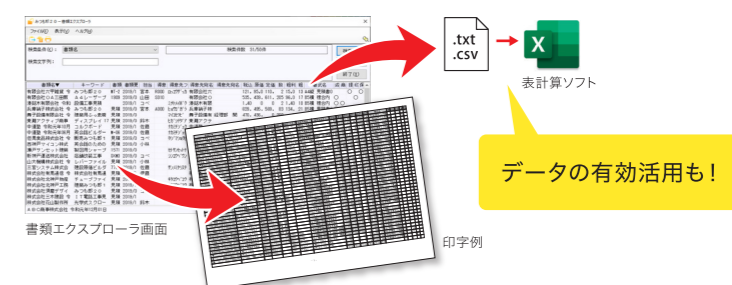
< 個人レベルから会社レベルへ >

商品や得意先情報も、サーバで管理することで社内統一した情報を活用できるほか、成約に向けた取り組みも孤立検討するのではなく、会社・個人への成果を目指した取り組みを実現することが可能です。新搭載の書類識別機能や付箋機能を活用して、各案件の進捗状況を把握したり、該当案件における重要確認事項や今後の予定などを記録し、情報共有を行うことで、成約に向けた取り組みなどの管理レベルも一気にアップします。また、ビジネスソリューションの必須ファクトとしてデータの一括バックアップ機能[®]も搭載し、日々のノウハウが蓄積された貴重なデータ資産のセキュリティも万全です。

[®]バックアップはサーバでのみ行い、クライアントPCでは行いません。

LAN 製品を導入すると会社レベルでデータの共有利用・一元管理が実現できます!

<参考> 書類エクスペローラの活用で社内資料の作成サーバのデータベース上に保存された書類を検索できる「書類エクスペローラ」を活用すれば、年度毎や担当者毎の書類データを一覧で表示・印刷することができます。検索データはテキスト・CSV形式での出力も可能ですから、表計算ソフト等へデータを転用して表やグラフ作成に活用することで、営業活動や経営指針の資料として役立てることが出来ます。



「みつも郎 20 LAN 製品」を導入する前に

Q1 Windows Server 専用機が必要ですか?

A1 はい。対応OSのインストールされたサーバ専用機が必要です。「みつも郎 20 LAN 製品」では、Microsoft社のSQL Serverデータベースシステムの採用により、下記のいずれかのServer環境とMicrosoft SQL Serverが必要で

日本語Microsoft Windows Server
2019 (64bit) / 2016 (64bit) /
2012 R2 (64bit) / 2012 R2 Foundation (64bit) /
2012 (64bit) / 2012 Foundation (64bit)

^{*}Peer-to-peerのLAN環境では使用できません。

^{**}WAN環境 (VPNなど) では動作いたしません。

^{**}サーバとクライアントは同じセグメントで運用して下さい。また、すべてのコンピュータが同一のワークグループまたはドメインに属する必要があります。

^{**}「みつも郎 20 LAN 製品」の動作環境詳細は、「LAN 製品動作環境」をご覧ください。コベック株式会社までお問い合わせください。

Q2 「みつも郎 20 LAN Express」と「みつも郎 20 LAN for SQL」の違いは何ですか?

A2 「みつも郎 20 LAN Express 製品」には「Microsoft SQL Server 2017 Express (64bit)」が同梱されています。「みつも郎 20 LAN for SQL 製品」のご利用には、別途対応の「Microsoft SQL Server」をご用意いただく必要があります。「みつも郎 20 LAN for SQL 製品」の対応データベースは、「LAN 製品動作環境」をご覧ください。コベック株式会社までお問い合わせください。

Q3 スタンドアロン版「みつも郎 20」から「みつも郎 20 LAN 製品」への乗換は可能ですか? またデータの移行はできますか?

A3 はい。スタンドアロン版の「みつも郎 20」や「みつも郎 20 LAN 製品」のライセンス数を追加されたいお客様向けに乗換製品をご用意しております。また利用中の環境でバックアップしたデータを、リストア機能でサーバ環境へ移行することができますので、無駄なくデータをご活用いただけます。

^{*}「みつも郎 20 LAN 乗換製品」のご購入には、事前にユーザー登録が必要です。詳細に関しては、コベック株式会社までお問い合わせください。
^{**}Microsoft SQL Serverの仕様により、データは上位互換となるため、上位バージョンのSQL Serverで作成したデータは、下位バージョンのSQL Serverに移行することはできません。なお、ファイル入出力機能を活用することで1データずつの移行は可能です。

Q4 「みつも郎 20」のサイトライセンス製品を利用して複数PCで個別にデータ構築をしているのですが、LAN 製品に乗り換える際に、そのデータ統合は可能でしょうか?

A4 はい。バックアップデータの統合機能を搭載しています。バックアップデータの統合作業時には、類似データを別データで保存、もしくは上書で保存などのオプション設定が可能です。

^{*}データ統合の作業後は必要に応じて重複データの編集や削除作業等が必要です。
^{**}Microsoft SQL Serverの仕様により、データは上位互換となるため、上位バージョンのSQL Serverで作成したデータは、下位バージョンのSQL Serverに移行することはできません。なお、ファイル入出力機能を活用することで1データずつの移行は可能です。
^{**}「スタンドアロン製品」や「各LAN製品 (LAN Express/LAN for SQL)」から「LAN for SQL 製品」へ乗換の場合、データ統合作業などを行うには、Microsoft SQL Server 上位互換の仕様により、[SQL Server]のバージョンを統一する必要があります。

Q5 構築されたデータのバックアップは、「みつも郎 20」を利用するユーザーなら誰でも行えるのでしょうか?

A5 バックアップやユーザー管理などの基幹作業は、サーバでのみ行える安心設計になっています。また、スケジュールバックアップ機能搭載で、万一データ消失などのトラブルが発生しても被害を最小限に抑ええるデータ管理が可能です。

Q6 ノートPCなどをLAN環境から一時切断してスタンドアロン状態にしている場合、「みつも郎 20 LAN 製品」を使用することはできますか?

A6 申し訳ございませんが、サーバに構築されたSQL Serverのデータベースに接続してプログラムが稼働しますので、スタンドアロン状態での利用はできません。LAN 製品とはデータが別管理になることをご了承いただける場合は、別途「みつも郎 20」スタンドアロン製品の導入をご検討ください。

^{**}Microsoft SQL Serverの仕様により、データは上位互換となるため、上位バージョンのSQL Serverで作成したデータは、下位バージョンのSQL Serverに移行することはできません。なお、ファイル入出力機能を活用することで1データずつの移行は可能です。